







船客も含め皆で祝った。この日は船中泊した。三日目はまずボートでイエノン洞窟へ行った。スウェーデン人によって発見された洞窟で、天宮という意味だという。下船後、ハノイのタンロン遺跡に向かった。タンロン遺跡はハノイにベトナム王朝の都があった頃の旧ハノイ城の跡地である。ここも世界遺産となっていて現在も発掘調査が行われている。この後ハノイ・ノイバイ国際空港から空路フエに向かった。フエはハノイに比べると、時間がゆつたりと流れている感じがした。フエも町全体が世界遺産となっている。

五日目はガイドのミンさんが民族衣装のアオザイを着てタンキーの家等を案内してくれた。アオザイのアオはシャツ、ザイは長いという意味だという。ホイアンは洪水の多い町で、家財をいつでも二階に上げられるように、天井が吹き抜けになっている。午後は五行山に移動した。五行山は全体が大理石でできており、別名はマーブルマウンテンと呼ばれている。エレベーターで上に登りホアギエム洞窟とワイエンコ洞窟の仏像に手を合わせた。仏像の後ろには釈尊の涅槃像が安置されている。この日の夜、飛行機が大幅に遅れカンボジアに到着したのは二十三日を回っていた。



ハロン湾

依。ベトナム料理の虜になり食べ過ぎるベトナム最後の夜。カンボジアに移動していいよ一番楽しみにしていたアンコール遺跡に到着。いたるところに美しいレリーフ。そしてアンコールワット。ああ今私はアンコールワットの目の前にいるんだという感動。特に朝日は本当にきれいで、最高の旅の締めくくりだった。ここには書ききれないくらいたくさんさんの経験をさせていただいた今回の旅行。団長の普賢先生、副団長の寺西先生、添乗員の浅野さん。そして各地のガイドさん、皆さんのおかげです。ありがとうございました。



現社1  
川原田梨紗

風景を自分の目で見ることでできてとても良い経験になったと思います。て下さいましたが、その歴史についてもっと詳しく知りたいと興味を持ちました。自分が行ったところ、見たものをその場で感じたことだけでなく調べて学びたいと思いました。日本との違いに驚くことは多くありました。ベトナムでは車ではなくバイクを使うことがほとんどで、バイクの音が鳴り響きます。道を歩くときは常に周りに注意を払わなければなりません。自分の身は自分で守らなければいけないということを実感しました。この旅行を通して、異文化に触れることができ、とても貴重な経験になりました。



英文3  
小久保菜月

研修で日本だけでなく世界にも視野を広げられるように二回生からも学んでいこうと思いました。数少ない社会主義の国、ベトナム。右を見ても左を見ても縦横無尽に走るバイクが印象に残っている。そしてどの町においても、活気に溢れていた。驚いたことは、ベトナムに日本人村ができるほど日本人が住んでいたという事だ。ホイアンを訪れた際、日本橋という日本人が造った橋や、タンキーの家、フーンフンの家など、日本と中国の建築様式がミックスされた建造物を見学した。当時の人々の生活の知恵を様々なところで見ることができた。カンボジアと言えば、アンコールワット。テレビと実物では全然違った。壁画の一つ一つがとても繊細で全てに意味を成していた。その中でも漁や狩りなどは、人々の生活が描かれて見応えのあるものだった。天空の樂園、それが本々だと思うほど雄大で神々しいものであった。この研修旅行を振り返ると本当に素晴らしいものであり、自分の世界観を拡げてくれるものとなった。これからのベトナムとカンボジアの更なる成長が楽しみだ。



アンコールワット

した。自身で見ただけでは物語の内容を正確に掴むことは困難ですが、ガイドさんの説明により理解することが出来ました。カンボジアでは多くのレリーフや「天空の城ラピュタ」のモデルとなったベトナムリア遺跡を見学しましたが、そこでの神秘的な様子は日本では体感し得ないものでした。



国文1  
川口由季

私は大学生の間に多くの国に行つてみたかったののでこの研修に参加しました。ベトナムで良かった点は、食事がベトナム料理だったことです。毎食少しずつ違うメニューでいろいろな種類の料理を食べることができたのが嬉しかったです。またハノイ、ダナン、フエ、ハロン湾と多くの場所に行くことができたその土地の雰囲気の違いなどを感じる事ができました。仏教の寺院も多く、日本とは建造の仕方が違い面白く感じました。



史学1  
北村和奏

今回の宗教研修旅行で私は初めて日本以外のアジアの国を訪れました。ベトナムもカンボジアも学校の授業で習うことはほとんどなく今回の研修で初めて学ぶことがほとんどでした。その中でも私が特に印象に残っているのがアンコール遺跡です。現地のガイドさんが遺跡についてのことを雑学を交えて説明してくださり、宗教の違いだけでなく国の違いを感じました。前述したようにベトナムやカンボジアについての歴史だけでなく、国自体もあまり知ることがなかったのですが、実際行ってみると日本語で話しかけられることが多く、日本人が中国語や韓国語で接客していることと似ていました。しかし、日本と違うのがまだ小学生ほどの小さい子でも日本語で話しかけてくるのを見て、国の情勢の違いを感じました。今回の

ベトナムではネオンの後光を放つ仏像があり、寺院にいるとは思えない気分になりました。ホイアンでは夜になるとたくさんの色鮮やかなランタンを見ることが出来て、とても綺麗でした。今回の研修は、いくつかの世界遺産や日本にはない現地独自の街並みなどを通して、多くのことを学んだ八日間でした。

今回の研修で印象に残っていることは、ベトナムの市街地を見学・観光できたことです。現地の学生さんと話をしながら周ることが出来たので、より現地の人々の生活の様子を詳しく知ることが出来ました。日本とは違った交通ルールや街の風景がとても興味深かったです。たのしみにしていたアンコールワットや周辺の遺跡見学は、写真で見ているよりも迫力があり、建物中の装飾や壁に掘ら



法学1  
大筆理彩

ベトナムの町はうわさどおりのバイクの量。道を歩くだけでメンタル強化。惜しくもホーチミンさんの顔は拝めなかったホーチミン廟。恐怖のハロン湾でのカヤック体験。ここでもメンタル強化。ベトナム戦争中焼身自殺をしたお坊さんが乗っていた車を見たときは涙が出そうだった。きれいなナイトマーケット。思わずちやうちんを購入。リンウン寺で歌った三帰

仏教の寺院を実際に訪れ、楽しむだけでなく現地の宗教観に触れることで多くの学びを得ることができたと思います。カンボジアでは、アンコール遺跡群に行くことができたのが一番楽しかったです。ガイドさんの解説が面白く、カンボジア宗教の移り変わりなどと共に歴史を勉強できたと思います。



英文1  
近藤 彩

今回の研修旅行で、教科書で見えていた世界遺産を間近で見ることができて感動しました。アンコールワットの中の彫刻の技術は本当に素晴らしい。現地のガイドさんが説明し

ベトナムの町はうわさどおりのバイクの量。道を歩くだけでメンタル強化。惜しくもホーチミンさんの顔は拝めなかったホーチミン廟。恐怖のハロン湾でのカヤック体験。ここでもメンタル強化。ベトナム戦争中焼身自殺をしたお坊さんが乗っていた車を見たときは涙が出そうだった。きれいなナイトマーケット。思わずちやうちんを購入。リンウン寺で歌った三帰

今回の研修で印象に残っていることは、ベトナムの市街地を見学・観光できたことです。現地の学生さんと話をしながら周ることが出来たので、より現地の人々の生活の様子を詳しく知ることが出来ました。日本とは違った交通ルールや街の風景がとても興味深かったです。たのしみにしていたアンコールワットや周辺の遺跡見学は、写真で見ているよりも迫力があり、建物中の装飾や壁に掘ら

今回の研修で印象に残っていることは、ベトナムの市街地を見学・観光できたことです。現地の学生さんと話をしながら周ることが出来たので、より現地の人々の生活の様子を詳しく知ることが出来ました。日本とは違った交通ルールや街の風景がとても興味深かったです。たのしみにしていたアンコールワットや周辺の遺跡見学は、写真で見ているよりも迫力があり、建物中の装飾や壁に掘ら

ベトナム・カンボジアへの宗教教育海外研修旅行が、二月十九日から二十六日までの八日間実施された。二十名の募集に對して四十名を超える応募があった。関西国際空港から空路ベトナムのハノイへと向かった。時差は二時間、所要時間は五時間半ほどでハノイ・ノイバイ国際空港に到着した。日本出発時の気温は十度であったが現地は二十一度であった。早速現地の学生四人と合流し、ホーチミン廟へ向かった。ホーチミンとは、北ベトナムの元国家主席である。その遺体はガラス張りのケースに納められている。廟は大理石でできており、ベトナムを植民地支配していたフランスの建築様式で作られている。

続いて徒歩で一柱寺に向かった。ハノイで一番大きな寺院で、旧暦の一日に地元の人がお参りに訪れるとのことであった。名前の由来は一つの柱の上に仏堂が乗ったように作られていることによる。

階段を登ると、仏堂の中には金色の八本の手を持つ観音菩薩像が蓮台の上に座している。学生は私と一緒に階段の下から合掌・礼拝した。その後旧市街地へ移動し、現地学生の案内で四班に分かれてしばらく散策した。驚いたのはハノイ市内のバイクの多さと交通ルールだった。四人乗りでノヘルムは沢山見かけた。

二日目はハロン湾へと向かった。バスの中では自己紹介もした。世界遺産であるハロン湾は、もともと海であった土地が隆起して今の景観を作り出したものと言われている。約一、五〇〇kmほどの大な湾内に二、〇〇〇ほどの奇岩が浮かんでいて、海の桂林とも称される景勝地である。昼食後ボートとカヤックに分かれ絶景を眺めながら水上での楽しいひとときを過ごした。夕方、デッキに上がり満天の星空を楽しんだ。夕食時にはこの日が誕生日だった学生のためにケーキが準備され他の乗

くの日本人が住み着き日本人街が造られていたという。日本との友好関係の象徴として日本橋も造られている。旧市街地は世界遺産となっている。ホイアンはナイトマーケットが有名で短い時間で買ったが買い物を楽しむことができた。

五日目はガイドのミンさんが民族衣装のアオザイを着てタンキーの家等を案内してくれた。アオザイのアオはシャツ、ザイは長いという意味だという。ホイアンは洪水の多い町で、家財をいつでも二階に上げられるように、天井が吹き抜けになっている。午後は五行山に移動した。五行山は全体が大理石でできており、別名はマーブルマウンテンと呼ばれている。エレベーターで上に登りホアギエム洞窟とワイエンコ洞窟の仏像に手を合わせた。仏像の後ろには釈尊の涅槃像が安置されている。この日の夜、飛行機が大幅に遅れカンボジアに到着したのは二十三日を回っていた。

カンボジアの到着の翌日はアンコールトムとタプロブ寺院を訪れた。バイヨン寺院はアンコールトムの中心地にある。アンコールは大きいという意味、トムは都という意味である。ここには象のテラスやライオンのテラスなどがあつた。バイヨン寺院は大乗仏教の寺院である。アンコールトムには五つの門があるが、勝利の門は日本の援助によつて二〇一六年に修復されている。タプロブ寺院はジャヤヴァルマン七世が母親のために造られた僧院で、樹木が建物に覆い被さつていて、映画「テュームレイダー」のロ

ケ地ともなった場所でもある。続いてアンコールワットを訪れた。スーリヤヴァルマン二世によつてヒンドゥー教の寺院として建てられたものという。アンコールワットとは、お寺のある都という意味である。夕刻にはバケン山に登りアンコールワットに沈む夕日を眺めた。

カンボジアの三日目はアンコールワットの間から登る朝日を見た。何とも厳かな日の出であつた。朝食後、バンテアイ・スレイ遺跡、ベンメリア遺跡を訪ねた。空港へ向かう途中オールドマーケットで買い物を楽しんだ後、帰国の途についた。皆元気に帰国でき実に有意義な研修旅行となつた。

カンボジアの三日目はアンコールワットの間から登る朝日を見た。何とも厳かな日の出であつた。朝食後、バンテアイ・スレイ遺跡、ベンメリア遺跡を訪ねた。空港へ向かう途中オールドマーケットで買い物を楽しんだ後、帰国の途についた。皆元気に帰国でき実に有意義な研修旅行となつた。

カンボジアの三日目はアンコールワットの間から登る朝日を見た。何とも厳かな日の出であつた。朝食後、バンテアイ・スレイ遺跡、ベンメリア遺跡を訪ねた。空港へ向かう途中オールドマーケットで買い物を楽しんだ後、帰国の途についた。皆元気に帰国でき実に有意義な研修旅行となつた。



れた絵をはっきりと見ることが出来てよかったです。今回のベトナム・カンボジア研修で文化や建物に他国からの影響を受けていることなど、現地に行ってみると、実際に肌で感じられることが初めて知ることができたことがたくさんありました。研修旅行で学んだことを自分でもっと調べてみようと思います。



児童1  
佐藤亜海

私は今回、宗教研修でベトナム、カンボジアに行くことができて本当に良かったと思う。なぜなら、今まで見たことのない世界をたくさん見ることができたからだ。ベトナムもカンボジアも日本とは街の風景や建物、人が全然違ってそれを見ていくことを実感しました。ベトナムでは、ハロン湾に海の上で一日を過ごすという、初めての経験をしました。朝方の霧に包まれた神秘的な姿から夜の暗闇に岩肌が浮かび上がる姿など、ハロン湾のいろいろな表情を見ることができました。カンボジアでは、アンコールワットで三帰依を合唱する貴重な体験をさせていただきました。この研修旅行に参加することで、



ベンメリア遺跡

この旅でしか得ることの出来ない、素敵な思い出を作ることができました。また、旅の最中、常に和気藹々と楽しく過ごせました。それは、先生方や現地ガイドの方、参加メンバーの皆さんがすごくよくしてくださったからだだと思います。この旅で感じたこと、得たものをこれからの生活に生かしていきたいと思っています。

この研修で私は、多くのことを学びました。一番違いを感じたのは、建物の様式や装飾からでした。同じアジアで仏教を信仰しているといっても、ベトナムの寺は日本の寺とは少し違いました。日本の寺は中が暗くて色も少なく、落ち着いた雰囲気ですが、ベトナムの寺は赤色の色彩や黄金の装飾などがされていて、とても派手に思えました。壁に描かれている絵にも日本とは異なる雰囲気を感じました。また、カンボジアにあるアンコールワットはヒンドゥー教の遺跡だから、日本にいると名前を聞かないような神様や物語がたくさん描かれており、カンボジアでは本場に身近な宗教だったのかと強く感じました。なかには現地の方が今でも参拝できる場所があり、地元の方が来て熱心にお祈りしているのを見て、今でも大事にされている場所だということを実感しました。

また、料理では、お茶会でベトナム伝統のお茶をいくつが出されて飲む機会もあり、日本では飲めない味を楽しむことができました。

今回の研修旅行で歴史



法学1  
塩谷奏子

からくる国の違いを肌で感じる事ができました。機会があれば、もっと他の場所にも行きたいと思いました。



史学1  
重田鮎美

今回の研修旅行で思い出深いのは、現地の学生さんや、ガイドさんとの交流です。まず、一日目は、ベトナムの学生さんに案内していただき、ハノイの旧市街を一緒にまわりました。実際に現地の学生さんとお話すること、自分たちだけで観光するときにはまわることでできない場所まで観光することができました。また、学生さんを通じて、現地の方々とお話してきて、とても嬉しかったです。そして、ベトナム北部ではドンさん、ベトナム中部ではミーさん、カンボジアではピセツトさんがガイドをしてくださいました。現地のことについて、実際に住んでいる人にしかわからないことなどを話してくださったので、ベトナム・カンボジアについての興味が深まりました。ガイドさんたちのおかげで、日本にいてはわからない、それぞれの地域の現状を知ることができました。現地の方と様々なお話ができたことで、今回の研修旅行はとても満足したのとなりました。



児童1  
下野瑞起

私は正直冗談半分で行こうかなあと行きました。全く行きたくないわけでもなく、興味はありましたが、海外と言うこともありませんでした。今回の研修旅行で歴史

行こうよ！ と言ってくれた友達がいだったので、大学時代のいい思い出になるかなと思いつくことにしました。料金は安いし、大学からだから安全だといふのも魅力的でした。今回は実際に行ってみたい、やはり日本との違いに目がいききました。私が一番驚いたのは水回りの事情でした。まだ発展しきっていない国と言うこともあり特にトイレはホテルなどでは大丈夫でしたが、衛生面で不安に思うこともありました。しかし、ガイドの方が親切な人ばかりでトイレもできるだり綺麗な所へ案内して下さったりと感激しました。また現地の人の性格が本当に温かくて優しく、お国柄の良さが惹かれました。また機会があれば訪ねてみたいと思いました。



法学1  
中上理恵

今回の研修は、初めての海外ということもあり出発前は緊張もありました。ですが旅行が始まれば初めてのことがばかりでとても充実した八日間でした。先生方や、先輩、同回生、添乗員の方に支えられとても楽しい研修になったと思います。

ベトナムでは、華やかな雰囲気、街並みやお正月飾りが多く残された遺跡を見学し、歴史や建築の意味などを現地のガイドさんに教えていただきました。日本とは違った華やかさが新鮮でした。研修の後半に行ったカンボジアでは壮大なアンコール遺跡を見学し、その迫力に圧倒されました。写真の中でしか見たことのないアンコールワットやアンコールトムを実際に自分の目で見て、今ま



教育1  
中村咲月

で授業で聞いた話によりリアリティをもつことが出来ました。最後に、ベトナム・カンボジア研修旅行に参加し、とても良い経験ができたと思います。

今回の研修でベトナム・カンボジアに行き一番に感じたことは文化の違いです。

例えば、ベトナムでは信号があまり無く道をわたるときは周りに注意しながらゆっくりと歩いたりカンボジアではありがとうと言うときに手をあわせてたりすることです。日本にいてもこういったことは耳にするかも知れませんが、実際に行くことによって、より実感することが出来ました。

また、この研修でいくつかの寺院を訪れて日本との違いを感じることが出来ました。日本では線香をたててからお祈りをするのに対して、ベトナムでは線香を持ったままお祈りをします。木造が多い日本のお寺とは違い、カンボジアのアンコールワットなどはすべて石でできていました。

一緒に行った方たちもいい人ばかりで、すぐに仲良くなれました。この研修でたくさんの方と交流ができたこと、色々な文化に触れることができてとても有意義なものでした。



史学1  
中山澄玲

今回の研修は、私自身初の海外でした。多くの世界遺産を、自分の目で見てみたいと思い、この研修に参加しました。学校の補助が充実していて、現地での生活はとても快



ホイアンのランタン風景

適でした。私がこの研修で印象的だったことは、ベトナムのハロン湾、ホイアン、カンボジアのアンコールワットです。ハロン湾では、船の上で一泊し、カヤックや揚げ春巻き作り、イカ釣り、お茶会、洞窟探検などそこだけで普段だとできない体験をたくさんすることができました。特にカヤックでは、乗っていたクルーズ船より至近距離で石灰岩台地が沈降し浸食してきた島々の自然を満喫することができ、感動的でした。ホイアンは、江戸時代、日本が朱印船貿易をおこなっていた地であり、来遠橋や日本人の居住地から当時の様子を学ぶことが出来ました。夜の街はランタンが幻想的で、日本ではなかなか味わえない趣を感じました。アンコールワットには二日間訪れ、早朝から朝日を見に行く日は、ハードスケジュールで疲れましたが、朝日の出る瞬間はとても美しく一生の思い出になりました。この研修により、フエの宮廷料理や、現地の郷土料理も満喫することができ、文化の違いも学べました。物価の違いを考えながら買い物をするのもできました。交通規制が日本と異なっていたこと、トイレに驚くことも多々ありました。沢山の経験を満喫することが出来、この研修で



教育1  
名原 遼

支えてくださった多くの方のサポートに感謝します。



史学1  
畑澤瑞花

私は今回のベトナム・カンボジア研修に参加し、感謝の気持ちの大切さを学びました。

ベトナムは現在経済が著しく発展していることもあり、町は活気に満ちていました。ハノイの旧市街では食品や切り絵な

ど様々なものが路上で売られ、多くの人で溢れていました。そんな中、片足を失った男性が物乞いをし、病気の女性が子供の玩具を売る姿も見られました。カンボジアのアンコール遺跡では世界各国から観光客が訪れ、多くの人で溢れていました。一方で物売りをする幼い子供たちや地雷の被害者による募金活動や物乞いも多々見られました。

二か国とも活気に満ちており「自分ももっと頑張らなくては！」と思いました。またその中で今も残る戦争・内戦の影響や苦しい生活を垣間見て、自分はあらゆることに対して恵まれていること、そして感謝の気持ちが足りないと感じました。これから感謝の気持ちを忘れることなく日々を過ごしていきたいと思っています。



史学1  
森近天音

私がこの旅行を通して一番思い出に残ったのは、ベトナム中部にあるホイアンの旧市街地に行ったことです。そこはユネスコの世界遺産にも登録されている街で、夜になると、美しくも幻想的な雰囲気を作り出す提灯の光が印象的でした。また、活気あふれるナイトマーケットに足を踏み入れると、現地の商人たちとの値段交渉のやり取りを楽しむつつ、面白い物を見ることができました。

そしてこの旅では、史学科生として、現地に行つて歴史を学ぶことの重要性を再認識することもできました。この旅行に参加するまで、自分はベトナム・カンボジアの歴史や社会体制についてある程度知っていると思っ



心理1  
山田萌枝

私は今回の研修旅行で生まれて初めて海外に行きました。そこで見て感じてきたものは数えきれず、様々な食材や伝統衣装が色とりどりに並べられた市場や、売られている果物やホテルのお香の匂いなど、ベトナム、カンボジアはその地の人々の活気で満ち溢れていました。

この旅行で特に印象的だったのは、ベトナム最後の皇帝のお墓カインディン帝廟です。建築は中国とフランスの建築様式の影響を受けていて、一歩中に入るとガラスや陶器などで作られたモザイクアートが壁から天井まであり、あまりの美しさに圧倒され写真を撮る手を止めまじまじと見てしまいました。

また日本と同様仏教が盛んなベトナムで、日本と違う特色を持っていることに気づきました。お寺の周りで咲いていた花の色鮮やかさは日本にはなく、国によって信仰の表し方や考え方の違いがあることを知りました。

今回の研修旅行で感じた貴重な経験は今後に繋ぎ生かせたらと思います。



